



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3 202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア会長主題 「変革のための光となろう」
- 東日本区理事主題 「未来のために今、学びと気づきを！  
未来のために自信を育み、真の喜びに出会う！」
- あずさ部部長主題 「良い結果をもたらす心の安定と考える力を」
- 東京西クラブ会長主題 「無理をしなくて歩く 希望の光に向かって」

### 2024年6月号

NO 573

御子は、天使たちより優れた者となりました。  
天使たちの名より優れた名を受け継がれたからです。

ヘブライ人の手紙 1章4節

### クラブ例会の形

本川 悦子

この1年間何とか例会を持ってきましたが、自他ともに認める高齢者クラブ、いろいろと不便なことが出てきました。

東京武蔵野多摩クラブ次期会長の渡辺さんから、次年度は東京たんぼぼクラブを交えて3クラブで合同例会をすることを提案されました。3クラブで話し合いをして、例会は順番に東京西クラブ→東京たんぼぼクラブ→東京武蔵野多摩クラブの順にして会場はYMCA山手センターを使うことに決まりました。

東京西クラブは拠点を荻窪ウェルファーム杉並から阿佐谷地域区民センターに移して1年、やっと慣れてきたので会場を変わりがたくなかったのですが、阿佐谷地域区民センターは公共の施設です。毎月抽選に当選しないと会場が確保できないデメリットがあります。

東京武蔵野多摩クラブは東京西クラブの親クラブ、東京たんぼぼクラブは子クラブの関係です。つまり家族です。次年度は家族でありながら、各クラブが築き上げてきた例会の形を継続したいと思います。毛利元就の3本の矢、3人寄れば文殊の知恵のたとえのように、3クラブで大きな力、考えを發揮して高齢化、会員の減少などの問題に取り組んでいきたいと思っています。

### —6月WHOウォーキング— 日本橋今昔・名橋日本橋を中心とした新しい街づくり

江戸時代、五街道の起点となり、水上交通や町人街の発展により賑わいを見せた日本橋地区は、今また時を経て大きく変わろうとしています。

このエリアでの首都高老朽化対策「日本橋区間地下化事業」と



日本橋川沿いの6エリアの再開発（高層ビル8棟など）の現場をめぐる。古き良き伝統と新しい文化を兼ね備えさらに発展する街を散策しましょう。

期 日：6月22日（第4土曜日）  
コース：コレド室町—三井本館—日本銀行本館—常磐橋—常磐橋公園（澁澤栄一像）—TOKYO TOACH—常盤橋—西河岸橋—日本橋—（日本橋1丁目中地区開発）—江戸橋—靄橋—福德の森—解散

集 合：地下鉄銀座線三越前駅 地下「日本橋案内所」前  
10:00（三越前駅改札を出てコレド室町入口側、1月と同様）  
解 散：福德の森で12時頃昼食前に解散します。

### クラブ役員

- 会 長 本川 悦子
- 副 会 長 神谷 幸男
- 書 記 村野 絢子
- 会 計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

5月の記録			ニコニコ	4,601円	
在籍者数	11人	メ ネット	0人	クラブファンド	0円
(内功労会員)	1人	コ ネット	0人	ファンド残高	114,715円
出席者数	10人	ビ ジ タ ー	2人	ホテ校ファンド	9,440円
メーキャップ	—人	ゲ ス ト	0人	ホテ校残高	60,509円
出席率	100%	出席者合計	12人	WHO参加者	46人

## 6月例会のご案内

### 強調テーマ：

#### YMCAサポート、評価、次年度計画

本川会長年度の最終例会です。今年度を振り返り、次年度の活動を共有し合うクラブ総会を行います。

また、恒例の東京 YMCA ホテル専門学校の留学生への奨学金贈呈式を行います。

日時：6月20日（木）18：30～20：30

会場：阿佐谷地域区民センター 3階

杉並区阿佐谷北 1-1-1 TEL03-5356-9501

会費：1,200円（夕食代として）

担当：A班（石井、高嶋、村野、横山、吉田）

### HAPPY BIRTHDAY

当クラブの該当者はありません

受付 篠原 文恵  
司会 石井 元子

会長・本川 悦子  
— 同  
大野 貞次

開会点鐘  
いざたて（静唱）  
聖句朗読・祈祷  
会長挨拶・ゲストご紹介  
奨学金受領者紹介  
奨学金贈呈  
奨学金受領者挨拶  
会食

小畑貴裕校長  
本川 会長

チャン・ラン・クエンさん  
— 同

2023-2024 年度クラブ総会  
ハッピーバースデー  
ワイズ報告  
YMCA 報告  
ニコニコ  
閉会点鐘

議長・本川会長  
会 長  
会長、各担当  
横山担当主事  
— 同  
本川 会長

### —5月事務会報告—

日時：5月23日（木）

16時00分～17時55分

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：大野、神谷、篠原、本川、  
村野

<報告事項>

#### ①会計報告：

別紙報告書で承認された。

#### ②3クラブ合同例会中間報告：

例会会場については毎月山手センターが確保された。（小原さん情報）。その他未定。

#### ③第3回あずさ部評議会（箱根山評議会）は5月11日（土）に山手センターにて開催された。

当クラブ出席者は神谷、河原崎、篠原、本川、村野。

第1～4号議案は全て承認可決された。

#### ④来年の在京ワイズ新年会の準備のためにもう1人YMCA職員が応援して下さる旨、横山さんからお知らせがあった。そのために例会にも何回か出席して下さる由。

#### <集会案内及び出席予定者>

①本年度第2回在京ワイズ会長会  
日程：5月25日（土）10:00～12:00（東京YMCA大会に先だって行われる。）

- 出席予定者：本川、神谷
- ②東日本区大会  
日程：6月1日（土）12:30～20:00  
会場：とまちプラザ、ホテル日航ノースランド帯広  
出席予定者：神谷、篠原、高嶋、村野
- ③ヘキサゴン DBC 交流会  
日程：東日本区大会終了後、会場未定  
<協議事項> = 例会以外 =  
**2024—2025年度クラブ諸担当**
- ①2024-2025 年度東京西クラブ  
役員（確認）  
会 長：神谷 幸男  
副会長：本川 悦子  
書 記：村野 絢子  
会 計：篠原 文恵
- ②例会担当班  
A 班（奇数月）：石井、篠原、本川、吉田  
B 班（偶数月）：大野、河原崎、高嶋、村野
- ③ブリテン編集者

### 奨学金受賞者のご紹介

#### TRAN LANG QUYEN

（チャン・ラン・クエン）さん

出身国：ベトナム

ホテル科2年生

就職内定先：ヒルトン沖縄瀬底リゾート

チャンさんは就職内定先が決まり、7月からの夏休みに帰省しますので、その前に自国の紹介など留学生生活等を話していただきます。



<その他>

2023-2024 年度会計監査は7月に行く。

（書記代理・神谷幸男）

大野	神谷	篠原
7月	8月	9月
10月	11月	12月
2025年1月	同 2月	同 3月
同 4月	同 5月	同 6月



懐かしい映像と共に:卓話の樋口順英さん



第3回あずさ部箱根山評議会

## — 5月例会報告 —

### あの時歴史が動いた！ ビートルズ以降

東京西クラブ5月例会は、5月16日（木）阿佐谷地域区民センターにて東京グリーンクラブ会長の樋口順英さんをお迎えしまして「あの時歴史が動いた！ ビートルズ以降」と題したお話を伺いました。ビジターは東京たんぽぽクラブの藤江喜美子さんにご出席いただきました。

樋口さんには1月例会で「日本のポピュラー音楽史」のお話を伺い、今回も懐かしい曲を流して下さりながらのお話を伺いました。

「あの時歴史が動いた！ ブリティッシュインバージョン（英国の侵略）は」ビートルズに始まった英国音楽の米国進出とその影響についてのお話です。

これは、1960年初頭にイギリスのバンドやアーティストがあったという間にアメリカ音楽チャートを席卷した音楽現象のことです。1964年はビートルズのアメリカ上陸です。この頃日本で、「こんにちは赤ちゃん」「高校3年生」「見上げてごらん夜の星」などが流行っていました。その後4月4日には、ビートルズの曲が全曲トップ5に入っています。

最後にイエスタデイの曲を流していただきながらあっという間のひとときでした。素晴らしい感動を与えていただいた樋口さんに感謝です。（河原崎和美）

### 2023～2024年度 第3回 あずさ部箱根山評議会報告

5月11日13:00～17:00、山手センターにてあずさ部評議会が開催されました。

菰刈光彦さん（東京サンライズクラブ）の司会、森本俊子・あずさ部部長の開会点鐘により開会式が行われ、議決権者53人中52人の出席で評議会が成立した。

議案1号・次期部長ピーター・マウントフォードさんの部長活動方針が承認され、議案2号・次期会計丹後佳代さんの24～25年度あずさ部予算が承認された。

議案3号で次々期部長に東京武蔵野多摩クラブの山口直樹さんが承認された。

議案4号・あずさ部監事の任期変更の件は継続審議となった。次に森本部長活動報告・各事業主査報告・クラブ会長活動報告がされた後、閉会となった。

第2部は長津徹さん（東京サンライズクラブ会長）の司会でホワイトバンドオーケストラの紹介と2月のウィーン公演の報告を鷺沼見和さんにしていただく予定だったが鷺沼さんが欠席となり、映像で言語聴覚障害・身体障害等の障害のある方と健常者が一つとなって、ベートーベンの「第9」、声と顔の表情と踊るような身体表現で素晴らしい演奏をするまでの様子を、出演した方々の緊張・喜び・満足・ホッとした様子も映しており、感動した（NHKで放映された）。

記念撮影の後、解散となった。

当クラブからは、本川・神谷・篠原・村野の4役が参加した。

（村野絢子）

### あずさ部会員数

会員増強事業主査 原 俊彦さん  
（富士五湖クラブ）

クラブ名	2023	2024	増減
甲 府	7.1	4.14	
甲 府	22	22	0
東京西	11	11	0
武蔵野多摩	8	7	-1
松 本	11	11	0
サンライズ	15	15	0
甲 府 21	41	42	1
八 王 子	12	12	0
東京たんぽぽ	7	6	-1
富士五湖	12	12	0
長 野	7	7	0
甲府やまなみ	12	12	0
合 計	158	157	-1

## － 4 月例会報告－ 能登半島地震災害現場での YMCA の働き

4 月例会のメインイベントは 1 月に発生した能登地震への YMCA の活動について現地で中心的役割を務められた東京 YMCA 主事の中里敦さんにその概要および支援における配慮等について説明を受けました。

YMCA は地震発生直後の 1 月 7 日に現地を訪れ支援活動のための状況調査を行った。内閣府の要請を受けて金沢市のいしかわ総合スポーツセンターに設置された 1.5 次避難所のアドバイザーを務め、全国の YMCA スタッフが交代で同避難所の運営サポート行う。

中里さん(たち)の働きは、町野小学校、東陽中学校に設置された避難所(地図で所在の説明を受ける)での運営サポートを 3 月末まで行う。(あとは富山 YMCA が引き継ぐ)

同避難所の様子、そこでの運営内容、1 日の流れ、派遣にあたっての課題、心がけたこと、私たちがしてきたことできたことについて説明があり、人と人との関わりの中で心の豊かさを取り戻していく、この体験は今も鮮明にあり、また支援活動をしてきた自分たちを見てほしい、知ってほしい、忘れないでほしい。笑顔にある中でも忘れてはならない YMCA 人として「寄り添い」「伴



現地から帰っても連日各所で報告が続いた中里さんの卓話

走」「隣人愛」など日ごろ培ってきたこのとの実践ができたことをお話しされました。

お話を聞いていて 68 日間、延べ 31 人のスタッフ派遣ができたのも YMCA あつてのこと思いました。(神谷幸男)  
(執筆予定者が急病のため 1 ヶ月遅れで掲載しました)



住吉神社の鳥居下で全員集合、  
四十六人が元気に歩きました  
お天気に恵まれ

## － 5 月 WHO ウォーキング－ 歴史の宝庫、築地本願寺・ 明石町・佃島界限

5 月 25 日(土)は 46 人参加されました。

晴天に恵まれましたので、熱中症対策としてこまめに水分補給し、なるべく日かげの利用を心掛けました。また休憩時間はやや長めにし、体力の消耗を抑えました。

築地本願寺では荘厳な本堂(重要文化財)でしばし穏やかな時間を過ごすことができました。

明石町では、聖路加国際大学の

チャペル、トイスラー記念館、ミッションスクール発祥の地など、明治初年の外国人居留地がもたらした西洋文化遺産をめぐり、聖路加ガーデン前の河岸公園で昼食をとりました。隅田川の川風が心地よかったです。

午後は佃大橋を渡って佃島界限を散策しました。住吉神社、佃煮屋さん等をはしご(天安、田中屋、丸久、つくしん)、ソフトクリームのほか、狭い路地に残る地藏堂(佃天台子育地藏尊)などに郷愁を感じつつ月島駅で解散しました。

## 感謝!

お 2 人から合計 8,000 円のご寄付を頂戴しました。感謝してご報告いたします。

ワイズ関係参加者は樋口(東京グリーン)、中澤・藤江(東京たんぽぽ)の皆さんでした。

(WHO 事務局)



## —東日本区大会報告— 吉田明弘さんが奈良傳賞受賞



写真・左はスクリーンから、吉田さんの奈良傳賞受賞の挨拶場面。右は高嶋元会長の代理受賞。  
下の写真は、あずさ部のバナーが並んだ光景。

6月1日(土)、北海道「とちちプラザ」で第27回東日本区大会が開催された。久しぶりに本州を離れ大半は帯広空港から直行、遠くは九州、関西からも集まった参加者で会場が埋め尽くされた。オープニングセレモニーでは、クラブ会長がバナーと共に登壇、いつものながらの華やかなシーンで始まり、メモリアルアワーではこの1年で逝去されたメンバーの思い出がスクリーンで紹介された。

記念講演は、元南極料理人・西村淳さんの「食べることは生きること」。厳しい南極基地での体験が語られ、月とオーロラと太陽が並んだ映像など珍しいシーンもあった。

各種表彰では、当クラブの吉田明弘さんのワイズ歴50年にわたって活躍された功績で「奈良傳賞」が授与された。大会出席できなかった吉田さんによるスクリー



ーンからの受賞挨拶があり、高嶋前会長が代わりに記念の盾を受け取った。

夜はホテルで大晚餐会パーティー、320人のお客様を迎えて十勝クラブを中心に札幌、北見のワイズメンたちの心のこもったプログラムとご馳走で、最後はよさこいソーラン乱舞で盛り上がり、閉会後もロビーで名残を惜しまれました。北海道の皆様、有難うご

ざいました。当クラブからの参加者は、神谷、高嶋、村野、篠原の4人でした。(篠原文恵)



### —DBC交流会—

所属クラブの関係で、従来西日本区大会で行われていたヘキサゴン DBC 交流会は、今年は東日本区大会の折に開催された。今回の DBC 交流会は京都ウェストクラブの DBC 東京ひがしクラブが加わって約 35 人で大賑わい。

交流会は大会終了後大会会場から徒歩約 5 分のバー「BRICK'S」で 21 時 30 分頃から行われた。東京ひがしクラブ会長

金丸満雄さんの乾杯の発声で元氣よくワイズ仲間の交流と健康を祝って開会。まずは参加クラブと参加者の紹介と会長のショートスピーチ。今回はメインスピーチもなし、カラオケで自慢の声を披露することもなし、狭いところを互いに譲り合って行き来し、もっぱら個々に交流を深め合い楽しいひと時を過ごした。そうこうしているうちに時計は 23 時半を廻り、熊本にしクラブ会長岩本

悟さんのメの言葉でお開きとなった。参加クラブは、千葉ウェスト、東京西、京都ウェスト、大阪西、熊本にしでした。

### —ワイズ交流BBQ大会—

翌6月2日、十勝クラブ中村義春さんと有志の方々のご招待で、帯広から東方へ車で約 40 分程の公営公園の一角にある BBQ 会場で昼食をご馳走になった。

前日同じホテルに泊まった 15



BBQ会場で爽やかな北海道の初夏を味わう

～16人は9時15分に集合してYMCAのマイクロバスで、あるいはレンタカー、レンタマイクロバスで10時過ぎに会場に到着。総勢30数人。

会場に着くと直ぐに目に入ったのは今日のご馳走の食材、食器類を収めたテント1張り。

あいさつもそこに食事の用意ができるまでの小1時間を、BBQ設備を併している起伏のとんだ広場施設でミニゴルフや散策を楽しみ、少々汗をかき腹も空かせたところでBBQ。

中村さんのごあいさつと説明を聞いた後、程よく炭火も手ごろに準備されたスポット4か所に分かれて食事の時間。用意された食材、肉（鹿の肉の由）、名物のアスパラガス、野菜、いか、小魚、おにぎりを焼きながら缶ビールを片手に舌鼓を打ち腹いっぱい。

少々の時間腹ごなしの木陰で輪になって参加クラブと参加者の紹介。本日帰る人もいるので3時に解散となった。

参加クラブは十勝、東京江東、東京西、京都ウエスト、大阪西、熊本にし、その他の約35人。

大自然の中での少々の運動、食事そして交流で大いに楽しんだ。

中村さん、帯広YMCA主事、中村さんに縁のある方々に感謝したい。（神谷幸男）



## YMCA Today

■ホテル学校の就職活動は例年に増して好調です。既に約8割の在校生が内定をいただいています。御三家と言われるような老舗ホテルから、外資系ブランドをはじめとした新規ホテルや、京都や沖縄などのリゾートホテルまで、それぞれが希望するホテルに内定をいただいております。また、1年生は夏休み以降に行うホテル実習に向けて、実習先ホテルの希望調査が始まりました。まだまだどんなホテルがあるかもわからない中ですが、夢への第一歩を踏み出そうとしています。スタッフ一同しっかりサポートしていきます。

■「第21回東京YMCA会員大会」が5月25日に開催され、山手センターに84人が集い、7人がオンライン配信を視聴されました。開会礼拝に続き、綿引康司会員部運営委員長の挨拶で第2部を開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2024年度の会員部運営委員が推挙されました。また、磯部成文氏が名誉会員に推挙された他、東陽町センター

の「下町こどもダイニング」のボランティアの皆さんに「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4人のユーザーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けました。

第3部では、中里敦氏（港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザMD）より、東京YMCAが行った輪島市町野町の避難所運営支援について報告がありました。会場では、能登半島地震被災者支援のための物産販売とオークションも行い、オークション、物産販売、募金、合わせて126,910円が寄せられました。

第4部では、山中湖センター100周年の感謝報告に合わせ、レクリエーションやキャンプソングを楽しみました。なお、「山中湖センター100周年募金」は4月末で終了し、当初の目標額を大きく上回る30,339,896円が寄せられました。

担当主事・横山弥利



## 編集後記

梅雨を前に5月は評議会、6月は区大会と行事が続きました。前夜祭から参加したメンバーや、西日本区大会へと足を延ばしたメンバーも、それぞれに充実したワイズ活動ができたことと思います。

私事ですが、体力がある間にやっておきたいことが沢山あります。体調と相談しながら夢を実現して行けたらと願う今日この頃です。

今月は久しぶりに6頁建て、原稿を寄せて下さったメンバーに感謝いたします。（F.S）

